

特別号

Vol.75

2009年3月9日発行

上村愛子選手(北野建設)、伊藤みき選手(中京大) 世界選手権で日本人初の快挙！！



FIS Freestyle World Championships

INAWASHIRO 2009

12年振り2度目の日本開催が実現した、FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会。オリンピックと並ぶビッグタイトルは、世界中の選手の目標。各国の強豪が一堂に会しました。

上村愛子選手(北野建設)がシングルモーグルで日本人初・世界選手権チャンピオンに



3月7日に行なわれた女子モーグル(シングル)。難コースと言われる猪苗代のゲレンデが、前日に降った雨でさらに難易度を増します。「やっぱりアイスバーンに足を取られる。どこまで堪えられるか、我慢勝負です。」と、ダントツのラップタイムで予選を1位通過するも、さらに気を引き締める上村選手。

決勝では、まず先にスタートを切った伊藤選手が快心の滑りを魅せ、渾身のガッツポーズ。メダルが期待されましたが、世界ランクで上をいくジェニファー・ハイル選手、ニコラ・スドバ選手がその前に立ちはだかり4位入賞。

最終滑走に登場した上村選手は、ターン・エア点ともにトップの圧倒的なパフォーマンスで優勝を果たしました。

上村選手コメント

まず、このような大きな舞台を自国で迎えられたこと。そのためにたくさんの方が力を注いで下さいました。そしてたくさんの応援してくださる皆さまのお陰で、この結果を得られたと実感しています。いつも私を支えてくださる皆さまの前で、最高の滑りと最高の結果を残すことができ本当に幸せです。ありがとうございました！

上村愛子公式HP <http://happy.woman.excite.co.jp/team-aiko/>

この優勝を受けて、上村選手は2010年バンクーバーオリンピックの代表に内定いたしました。

女子デュアルモーグル 上村選手(北野建設)と伊藤みき選手(中京大)がワン・ツー フィニッシュ

前日に引き続き8日に行われた女子デュアルモーグル。ベスト4に日本人選手が3名(上村選手、伊藤選手、里谷多英選手/フジテレビ)進出という大混戦となりました。

誰が勝ち上がっても楽しみな戦いに、会場のボルテージも最高潮。準決勝で里谷選手をやぶった伊藤選手は、同じく順当に勝ち上がった上村選手と決勝戦で夢の対戦を迎えました。

序盤、上村選手からリードを奪って勢いに乗る伊藤選手。経験で勝る上村選手は、焦ることなく自身の滑りに集中し、昨シーズンから強化を重ねてきた巧みなターンで徐々に間を詰め、貫禄の勝利。伊藤選手は敗れはしたものの、ベストリザルトで世界選手権初ワン・ツーフィニッシュを飾りました。

上村選手コメント

みきの丁寧な滑りは、私も見習いたいほど。素晴らしい選手ということはよく知っていますし、もちろん緊張しました。ただ、日本選手がこれだけ勝ち上がっていたので、一緒に表彰台上りたい！と気合が入りました。みきとまた表彰台上に立てたことが今は一番嬉しいです。

伊藤選手コメント

良い日になりました！たくさんの応援を頂いたこと、このような結果を得ることができたことを、本当に嬉しく思っています。また、バンクーバー五輪代表の内定も頂いて、目標のステージに立てることが決まったので、これから1つ1つ修正して、もっと良い滑りをしたいです。



2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会 5月1日、オフィシャルDVD発売決定！

世界最高峰のパフォーマンスと、日本人選手の活躍に沸いた今大会のハイライトDVDの発売が決定しました。このDVDだけの独占インタビューや貴重なバックステージの映像も多数収録！

先行予約受付中

<http://shop.sports-biz.co.jp/>